



CTF通信

集う・遊ぶ
学ぶ・働く

第117号

2012年12月

発行 : CTF松阪

CTF 松阪の活動 この1年

平成 24 年もあと 1 ヶ月を残すのみとなりました。会員の皆さまの平成 24 年はどんな 1 年だったでしょうか？

昨年 3 月 11 日の『東日本大震災』発生から 1 年 8 ヶ月を経過しましたが、現在もまだ 32 万 5 千人の方々が全国 47 都道府県 1,200 以上の市区町村で避難生活を送っておられるとのこと（復興庁 11 月 7 日発表）、自然の力の大きさをあらためて思い知らされるとともに、現在も不自由な生活を送っておられる多くの方々にお見舞いを申しあげ、一日も早い復興を願わずにはいられません。

また今年は、北日本から西日本にかけて日本

海側での大雪（2 月）や、九州北部豪雨（7 月）、台風 16 号による大雨・暴風（9 月）のほか、各地で竜巻の発生などの自然現象による被害がありました。一方、ロンドン五輪大会の開催や、東京スカイツリーの竣工・開業、山中伸弥博士のノーベル賞受賞などの明るい話題もありました。

さて CTF ではこの 1 年、これまでの経験を生かして障がい者の方々へのニーズに合った諸活動を展開しました。11 月末までの主な活動は下表のとおりです。会員の皆さまのご支援・ご協力に感謝いたします。

障がい者対象個人向けパソコン講座開催	39 回	受講者延べ 167 名
障がい者の方のための夏季パソコン講座開催 2 コース	5 回	受講者延べ 12 名
ワーク会員スキルアップ研修会開催	14 回	受講者延べ 14 名
会員スキルアップ研修会開催	3 回	受講者延べ 26 名
障がい者宅訪問 IT サポート	47 回	
IT 関連事業受託（意思伝達装置使用サポート、ホームページ編集など）		5 件
会員情報紙「CTF 通信」発行		11 回

10 月 26 日にマイクロソフトの新しい OS Windows8 が発売された。



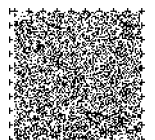
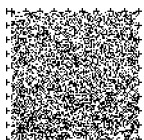
CTF の仲間からは『早く買え！』とばかりのことを言われるが、いま一つ踏み切れないでいる。なぜかと言うと、今使っている Windows7 で特に不自由をしていることがないからだ。（Vista から Windows7 に乗り換えるときもそんなこと言ってたなあ）

タッチパネルにタッチして操作する新しいユーザーインターフェイスも、使ってみたい気もあるが、eメールや Web サイトの閲覧用程度にしか使いこなしていないタブレット端末と同じではないかという気もしている。

タッチパネル非搭載の Windows8 機もあるが、タッチ操作向きに作られた OS で、タッチ操作をしない使い方というのにも何か抵抗がある。あれこれと考えあぐねて 1 ヶ月あまりが経った。

買うとすれば、小型軽量でタッチパネル搭載、CPU は Core i5 以上でタブレットとしても使用可能なもの、という

条件で探す、もう一つ、最重要な条件（¥）が満足されず、当分悩ましい日々が続きそうだ。 (H.O)



今月号は文字数が多いので、第 1 ページと第 4 ページに SP コードを 2 個付けてあります。第 1 ページと第 4 ページでは、先に左下の SP コードを、次に右下の SP コードを読んでください。



検知の網を通り抜けるステルス・ウイルス

ウイルス対策ソフトの最大の武器は「パターン・マッチング」ですが、それをすり抜ける新種のウイルスがあらわれました。自分自身の外観（バイナリ）を変更するウイルスです。外観が変化するウイルスにパターン・マッチングは歯が立ちません。

このようにウイルス対策ソフトの検知活動から逃れる技術を「ステルス技術」と呼びます。このステルス技術を搭載したウイルスの中で最初に登場したのが「ポリモーフィック型」（またはミューテーション型）と呼ばれるウイルスです。

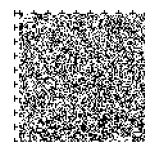
このポリモーフィック型のウイルスは、自分のプログラム・コードを暗号化することでパターン・マッチングの検知から逃れます。この型に属する有名なウイルスには「Redlof」などがあります。

一般的にプログラム・コードの暗号化には「鍵」と呼ばれる数字が使用される。この数字はウイルスが暗号化された複製を作る際に利用されるが、この鍵自体は常にランダムな数字から生成される。そのためこの鍵から作られるウイルスの暗号化コードは常に変化してしまいパターン・マッチングの手法では検出できない。

ポリモーフィック型のウイルスが実行されると鍵によって暗号化されたウイルス本体のコードを自分自身で復元し、自分のコピーを作る際に別の鍵を使って自分自身を再び暗号化する。そのため作られるコピーのコードは常に変化することになる。このように一見すると大きな脅威と感じる「ポリモーフィック型のウイルス」だが意外にも弱点は多い。なぜならウイルスのプログラムすべてを暗号化してしまうと、それを解読するプログラムが起動できなくなってしまうためだ。つまりポリモーフィック型のウイルスは暗号化される「常に変化する本体部分」と「変化しない復号化プログラム」という2つのプログラムで構成されているから、この変化しない部分ならパターン・マッチング手法で発見できるからだ。

また、復号化する部分を突き止めて「鍵」を取得できれば、暗号化された本体部分を復元できる。復元されたコードは常に同じものを複製したものであるためウイルスの種類を判別する決め手になる。そのためポリモーフィック型のウイルスは、それほど大きな脅威にはならなかった。

つづく



活動報告

【11月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
(6日、13日、20日、27日)

訪問ITサポート
(5日、7日、8日、10日、19日、26日)



活動予定



【12月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
18日
9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



駅をたずねて

漕代駅 (こいしろえき)

先月訪れた櫛田駅の隣、松阪市内で一番東にある駅が漕代駅です。この駅も普通電車しか停まりません。

この駅は2面のプラットホームと2本の線路があり、それぞれのホームは構内踏切で結ばれています。無人駅です。(写真上)

この駅の北約2.5kmのところには神麻績機殿神社(写真下)が、さらに約2km北方には神服織機殿神社があります。この2社は古くから伊勢神宮に荒妙(あらたえ=麻)・和妙(にぎたえ=絹)の神御衣を奉織していました。現在も5月と10月の2回、地元の人たちの手で昔ながらの方法で織られ、神宮に奉獻されています。この御衣(おんぞ)奉織行事は松阪市の無形民俗文化財に指定されています。



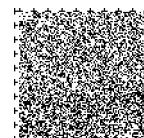
路線名：近鉄山田線

所在地：松阪市稲木町1108-5

開設年：昭和18年

乗車人員：1日平均144人(平成21年度)

出典・平成23年刊三重県統計書



介護ヘルパー1年生

H. H

私が勤務する介護施設は病院併設型で、住宅型有料老人ホームといわれる施設なのですが、動ける人は少数派で寝たきりの人（脳卒中系や老衰）が大半を占めており、ほとんど「病院」という感じです。しかし、独立型の介護施設とは違い入所者の体調がすぐれない場合などには、すぐに医師や看護師が駆けつけてくるので心強い面もあります。

私がヘルパー2級の資格を取得したのは3年前。当時、鈴鹿市内の小学校に勤務しており、長い夏休みを利用して鈴鹿短期大学の集中講座で学びました。つまり今年度から働くまでに3年間のブランクがあったため、覚えた知識の大部分は消去されていました（涙）。

まさにゼロからのスタートなのですが、ヘルパー1年生ながら、勤務先で働いてみて強く思った点は、入所者の姿は間違いなく未来の自分であり、答えをリアルに見てしまった以上、今の自分は残りの人生を逆算して今何をすべきなのか？少しずつですが、自問自答を繰り返しています。少し先の話になると思いますが、人生は何が起きるのか一寸先は闇なので、考えて損は無いと思われま。とりあえず「体が資本の源」という事で、体だけでも鍛えておこうと考えています。（つづく）



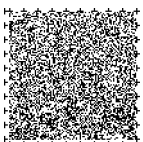
編集後記



平成24年・師走の風が吹いてきました。この一年を振り返って皆さん良い年でしたか？

街ではクリスマスの飾りつけが木枯らしの中ピカピカと輝いています。

少し早いですが今年一年CTF会員の皆さん大変お世話になりました。来年も皆さんに喜んで頂けるような、CTF通信をお届けしていきたいと思っております。



CTF 通信第 117 号

2012年（平成24年）12月発行

発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

